

【訂 正】

「令和4年度版 中小企業向け特例税制・適用検討のポイントと手続き」（令和4年9月刊行）において下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。

税務研究会出版局

P123 下から3行目

(誤) 別表6(29)

(正) 別表6(31)及び別表6(31)付表1

P124 上から4行目 提出書類の囲みの中

(誤) 別表6(29) 中小企業者等の給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書

(正) 別表6(31) 給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書

別表6(31)付表1 給与等支給額及び比較教育訓練費の額の計算に関する明細書

P243 (6)税務申告手続の上から6行目

(誤) 別表6(29)

(正) 別表6(31)及び別表6(31)付表1

提出書類の囲みの中

(誤) 別表6(29) 中小企業者等の給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書

(正) 別表6(31) 給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書

別表6(31)付表1 給与等支給額及び比較教育訓練費の額の計算に関する明細書

様式を下記の通り読み替えて下さい。

P125

【別表6(31)】

| 給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書 | | 事業年度 | ・ | ・ | 法人名 | | |
|----------------------------------------------------------|----|------|---|---|-----|---------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 期末現在の資本金の額又は出資金の額 | 1 | 円 | | | | | |
| 期末現在の常時使用する従業員の数 | 2 | 人 | | | | 適用可否 | 3 |
| 法人税額の特別控除額の計算 | | | | | | | |
| 雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「4」) | 4 | 円 | | | | 控除対象雇用者給与等支給増加額 (6)と(10)のうち少ない金額 | 19 |
| 比較雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「11」) | 5 | | | | | 雇用者給与等支給増加重複控除額 (別表六(三十一)付表二「12」) | 20 |
| 雇用者給与等支給増加額 (4) - (5) (マイナスの場合は0) | 6 | | | | | 差引控除対象雇用者給与等支給増加額 (19) - (20) (マイナスの場合は0) | 21 |
| 雇用者給与等支給増加割合 $\frac{(6)}{(5)}$ (5) = 0 の場合は0) | 7 | | | | | 第1項適用 (14) \geq 4 % の場合 0.1 (18) \geq 20% 又は (15) = (17) > 0 の場合 0.05 | 22 |
| 調整雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「5」) | 8 | 円 | | | | 税額控除限度額又は中小企業者等税額控除限度額の計算 | 23 |
| 調整比較雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「12」) | 9 | | | | | 税額控除限度額 (21) \times (0.15 + (22) + (23)) (14) < 0.03 の場合は0 | 24 |
| 調整雇用者給与等支給増加額 (8) - (9) (マイナスの場合は0) | 10 | | | | | 第2項適用 (7) \geq 2.5 % の場合 0.15 | 25 |
| 継続雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「19の①」) | 11 | | | | | (18) \geq 10% 又は (15) = (17) > 0 の場合 0.1 | 26 |
| 継続雇用者比較給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「19の②」又は「19の③」) | 12 | | | | | 中小企業者等税額控除限度額 (21) \times (0.15 + (25) + (26)) (7) < 0.015 の場合は0 | 27 |
| 継続雇用者給与等支給増加額 (11) - (12) (マイナスの場合は0) | 13 | | | | | 調整前法人税額 (別表一「2」又は別表一の三「2」若しくは「14」) | 28 |
| 継続雇用者給与等支給増加割合 $\frac{(13)}{(12)}$ (12) = 0 の場合は0) | 14 | | | | | | |
| 教育訓練費の額 | 15 | 円 | | | | 当期税額基準額 (28) \times $\frac{20}{100}$ | 29 |
| 比較教育訓練費の額 (別表六(三十一)付表一「24」) | 16 | | | | | 当期税額控除可能額 (24) 又は (27) と (29) のうち少ない金額 | 30 |
| 教育訓練費増加額 (15) - (16) (マイナスの場合は0) | 17 | | | | | 調整前法人税額超過構成額 (別表六(六)「8の②」) | 31 |
| 教育訓練費増加割合 $\frac{(17)}{(16)}$ (16) = 0 の場合は0) | 18 | | | | | 法人税額の特別控除額 (30) - (31) | 32 |

別表六(三十一) 令四・四・一 以後終了事業年度分

【別表6(31)】記載の仕方（国税庁ホームページより）

別表六（三十一）の記載の仕方

- 1 この明細書は、青色申告法人が措置法第42条の12の5第1項又は第2項（給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除）の規定の適用を受ける場合（令和4年4月1日から令和6年3月31日までの間に開始する各事業年度においてこれらの規定の適用を受ける場合に限り、）に記載します。
 - (1) 「期末現在の資本金の額又は出資金の額1」の金額が10億円以上であり、かつ、「期末現在の常時使用する従業員の数2」の数が1,000人以上である場合で、措置法令第27条の12の5第1項（給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除）に規定する事項を公表している場合（同条第2項に規定する書類の写しの添付がある場合に該当する場合に限り、）
 - (2) 「期末現在の資本金の額又は出資金の額1」の金額が10億円未満であり、又は「期末現在の常時使用する従業員の数2」の数が1,000人未満である場合
 - (3) 措置法第42条の12の5第2項の規定の適用を受ける場合
- 2 「適用可否3」は、次に掲げる場合のいずれかに該当する場合に「可」と記載します。
 - 3 「教育訓練費の額15」は、措置法令第27条の12の5第12項に規定する教育訓練費の額を記載します。

【別表6(31)付表1】

給与等支給額及び比較教育訓練費の額の計算に関する明細書

| | | | |
|------|---|---|-----|
| 事業年度 | ： | ： | 法人名 |
|------|---|---|-----|

別表六三十一付表一 令四・四・一以後終了事業年度分

| 雇用者給与等支給額及び調整雇用者給与等支給額の計算 | | | | |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 国内雇用者に対する給与等の支給額 | (1)の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | (2)のうち雇用安定助成金額 | 雇用者給与等支給額 (1)-(2)+(3) (マイナスの場合は0) | 調整雇用者給与等支給額 (1)-(2) (マイナスの場合は0) |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 比較雇用者給与等支給額及び調整比較雇用者給与等支給額の計算 | | | | |
| 前事業年度又は前連結事業年度 | 国内雇用者に対する給与等の支給額 | (7)の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | (8)のうち雇用安定助成金額 | $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(6)の前事業年度又は前連結事業年度の月数}}$ |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ： | 円 | 円 | 円 | _____ |
| ： | | | | |
| 比較雇用者給与等支給額 $((7)-(8)+(9)) \times (10)$ (マイナスの場合は0) | | | | 11 円 |
| 調整比較雇用者給与等支給額 $((7)-(8)) \times (10)$ (マイナスの場合は0) | | | | 12 |
| 継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額の計算 | | | | |
| | | 継続雇用者給与等支給額の計算 | | 継続雇用者比較給与等支給額の計算 |
| | | 適用年度 | 前事業年度等 | 前一年事業年度特定期間等 |
| | | ① | ② | ③ |
| 事業年度等又は連結事業年度等 | 13 | 円 | 円 | 円 |
| 継続雇用者に対する給与等の支給額 | 14 | | | |
| 同上の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | 15 | | | |
| 同上のうち雇用安定助成金額 | 16 | | | |
| 差引 (14)-(15)+(16) | 17 | | | |
| $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(13の③)の月数}}$ | 18 | | | _____ |
| 継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額 (17)又は((17)×(18)) | 19 | | | 円 |
| 比較教育訓練費の額の計算 | | | | |
| 事業年度又は連結事業年度 | 教育訓練費の額 | $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(20)の事業年度又は連結事業年度の月数}}$ | 改定教育訓練費の額 (21)×(22) | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | |
| 調整対象年度 | 円 | _____ | 円 | |
| ： | | _____ | | |
| ： | | _____ | | |
| 計 | | | | |
| 比較教育訓練費の額 (23の計)÷(調整対象年度数) | | | | 24 |

【別表6(31)付表1】記載の仕方（国税庁ホームページより）

別表六（三十一）付表一の記載の仕方

- 1 この明細書は、青色申告法人が措置法第42条の12の5第1項又は第2項《給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除》の規定の適用を受ける場合（令和4年4月1日から令和6年3月31日までの間に開始する各事業年度においてこれらの規定の適用を受ける場合に限り。）に記載します。
- 2 「前事業年度又は前連結事業年度6」の月数が6月に満たない場合（その月数が適用年度（措置法第42条の12の5第3項第4号に規定する適用年度をいいます。以下同じです。）の月数に満たない場合に限り。）には、措置法令第27条の12の5第18項第2号イ《給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除》に規定する前一年事業年度（同号イの前事業年度を除きます。）又は令和2年6月改正令附則第45条の2第3項第2号イ《給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する経過措置》に規定する連結事業年度等（同号イの連結事業年度を除きます。）の損金の額に算入される給与等（措置法第42条の12の5第3項第3号に規定する給与等をいいます。以下同じです。）の支給額、その給与等に充てるため他の者（措置法第42条の12の5第1項第2号に規定する他の者をいいます。）から支払を受ける金額又は措置法第42条の12の5第3項第6号イに規定する雇用安定助成金額を「7」から「9」までの各欄の上段にそれぞれ外書として記載します。この場合において、
$$\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(6)の前事業年度又は前連結事業年度の月数}} \times 10$$
中「(6)の前事業年度又は前連結事業年度の月数」とあるのは「前一年事業年度等の月数の合計数又は連結事業年度等の月数の合計数」と、「比較雇用者給与等支給額11」中「(7)-(8)+(9)」とあるのは「((7)+(7の外書))-(8)+(8の外書)+(9)+(9の外書)」と、「調整比較雇用者給与等支給額12」中「(7)-(8)」とあるのは「((7)+(7の外書))-(8)+(8の外書)」として計算します。
- 3 措置法令第27条の12の5第19項又は第20項の規定によりみなされた同条第12項又は第14項の規定の適用を受ける場合における「比較雇用者給与等支給額及び調整比較雇用者給与等支給額の計算」の各欄に記載に当たっては、次によります。
 - (1) 「比較雇用者給与等支給額11」には、措置法第42条の12の5第3項第10号に規定する比較雇用者給与等支給額を記載します。
 - (2) 「調整比較雇用者給与等支給額12」には、措置法令第27条の12の5第21項（第2号に係る部分に限り。）の規定により計算した措置法第42条の12の5第3項第6号ロに掲げる金額を記載します。
- 4 「継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額の計算」の各欄は、措置法第42条の12の5第1項の規定の適用を受ける場合に記載します。この場合において、これらの欄の記載に当たっては、次に掲げる場合の区分に応じそれぞれ次に定めるところによります。
 - (1) その適用年度の月数と、「事業年度等又は連結事業年度等13」の「前事業年度等②」の月数とが同じ場合
「13」から「19」までの「前一年事業年度特定期間等③」の各欄は、記載しません。
 - (2) 「事業年度等又は連結事業年度等13」の「前事業年度等②」の月数とその適用年度の月数に満たない場合
「14」から「19」までの「前事業年度等②」の各欄は、記載しません。
 - (3) 「事業年度等又は連結事業年度等13」の「前事業年度等②」の月数とその適用年度の月数を超える場合
「13」から「19」までの「前一年事業年度特定期間等③」の各欄は記載せず、「継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額19」の「前事業年度等②」には「差引17」の「前事業年度等②」の金額のうち措置法令第27条の12の5

第7項第2号ロに規定する前事業年度特定期間に対応する金額を記載します。

- 5 「継続雇用者に対する給与等の支給額14」は、損金の額に算入される措置法第42条の12の5第3項第4号に規定する継続雇用者に対する給与等の支給

額を記載します。

- 6 「教育訓練費の額21」は、措置法令第27条の12の5第12項に規定する教育訓練費の額を記載します。

【記載例】別表6(31)

| 給与等の支給額が増加した場合の法人税額の特別控除に関する明細書 | | 事業年度 | ： | ： | 法人名 | | |
|---------------------------------------------------------|----|------------|---|--------------------------------------------------------------------------|-----|---------|---|
| 期末現在の資本金の額又は出資金の額 | 1 | 10,000,000 | 円 | 適用可否 | | 3 | 有 |
| 期末現在の常時使用する従業員の数 | 2 | 10 | 人 | | | | |
| 法人税額の特別控除額の計算 | | | | | | | |
| 雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「4」) | 4 | 42,860,000 | 円 | 控除対象雇用者給与等支給増加額 (6)と(10)のうち少ない金額 | 19 | 900,000 | 円 |
| 比較雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「11」) | 5 | 41,960,000 | | 雇用者給与等支給増加重複控除額 (別表六(三十一)付表二「12」) | 20 | | |
| 雇用者給与等支給増加額 (4) - (5) (マイナスの場合は0) | 6 | 900,000 | | 差引控除対象雇用者給与等支給増加額 (19) - (20) (マイナスの場合は0) | 21 | 900,000 | |
| 雇用者給与等支給増加割合 $\frac{(6)}{(5)}$ (5) = 0の場合は0) | 7 | 0.0214 | | 第1項適用 (14) \geq 4% の場合 0.1 | 22 | | |
| 調整雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「5」) | 8 | 42,360,000 | 円 | (18) \geq 20% 又は (15) = (17) > 0 の場合 0.05 | 23 | | |
| 調整比較雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「12」) | 9 | 41,160,000 | | 税額控除限度額 (21) \times (0.15 + (22) + (23)) (14) < 0.03の場合は0) | 24 | | 円 |
| 調整雇用者給与等支給増加額 (8) - (9) (マイナスの場合は0) | 10 | 1,200,000 | | 第2項適用 (7) \geq 2.5% の場合 0.15 | 25 | | |
| 継続雇用者給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「19の①」) | 11 | | | (18) \geq 10% 又は (15) = (17) > 0 の場合 0.1 | 26 | | |
| 継続雇用者比較給与等支給額 (別表六(三十一)付表一「19の②」又は「19の③」) | 12 | | | 中小企業者等税額控除限度額 (21) \times (0.15 + (25) + (26)) (7) < 0.015の場合は0) | 27 | 135,000 | 円 |
| 継続雇用者給与等支給増加額 (11) - (12) (マイナスの場合は0) | 13 | | | 調整前法人税額 (別表一「2」又は別表一の三「2」若しくは「14」) | 28 | xxx | |
| 継続雇用者給与等支給増加割合 $\frac{(13)}{(12)}$ (12) = 0の場合は0) | 14 | | | 当期税額基準額 (28) \times $\frac{20}{100}$ | 29 | xxx | |
| 教育訓練費の額 | 15 | | 円 | 当期税額控除可能額 (24) 又は (27) と (29) のうち少ない金額 | 30 | 135,000 | |
| 比較教育訓練費の額 (別表六(三十一)付表一「24」) | 16 | | | 調整前法人税額超過構成額 (別表六(六)「8の②」) | 31 | | |
| 教育訓練費増加額 (15) - (16) (マイナスの場合は0) | 17 | | | 法人税額の特別控除額 (30) - (31) | 32 | 135,000 | |
| 教育訓練費増加割合 $\frac{(17)}{(16)}$ (16) = 0の場合は0) | 18 | | | | | | |

別表六(三十一) 合四・四・一以後終了事業年度分

【記載例】別表6(31)付表1

給与等支給額及び比較教育訓練費の額の計算に関する明細書

| | | | |
|------|---|---|-----|
| 事業年度 | ： | ： | 法人名 |
|------|---|---|-----|

別表六三十一付表一 令四・四・一以後終了事業年度分

| 雇用者給与等支給額及び調整雇用者給与等支給額の計算 | | | | |
|-----------------------------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 国内雇用者に対する給与等の支給額 | (1)の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | (2)のうち雇用安定助成金額 | 雇用者給与等支給額 (1)-(2)+(3) (マイナスの場合は0) | 調整雇用者給与等支給額 (1)-(2) (マイナスの場合は0) |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 42,860,000 | 500,000 | 500,000 | 42,860,000 | 42,360,000 |
| 比較雇用者給与等支給額及び調整比較雇用者給与等支給額の計算 | | | | |
| 前事業年度又は前連結事業年度 | 国内雇用者に対する給与等の支給額 | (7)の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | (8)のうち雇用安定助成金額 | $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(6)の前事業年度又は前連結事業年度の月数}}$ |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| ××・4・1 ××・3・31 | 41,960,000 | 800,000 | 800,000 | 12 12 |
| 比較雇用者給与等支給額 $((7)-(8)+(9)) \times (10)$ (マイナスの場合は0) | | | 11 | 41,960,000 |
| 調整比較雇用者給与等支給額 $((7)-(8)) \times (10)$ (マイナスの場合は0) | | | 12 | 41,160,000 |
| 継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額の計算 | | | | |
| | | 継続雇用者給与等支給額の計算 | | 継続雇用者比較給与等支給額の計算 |
| | | 適用年度 | 前事業年度等 | 前一年事業年度特定期間等 |
| | | ① | ② | ③ |
| 事業年度等又は連結事業年度等 | 13 | 円 | 円 | 円 |
| 継続雇用者に対する給与等の支給額 | 14 | | | |
| 同上の給与等に充てるため他の者から支払を受ける金額 | 15 | | | |
| 同上のうち雇用安定助成金額 | 16 | | | |
| 差引 (14)-(15)+(16) | 17 | | | |
| $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(13の③)の月数}}$ | 18 | | | |
| 継続雇用者給与等支給額及び継続雇用者比較給与等支給額 (17)又は((17)×(18)) | 19 | | | 円 |
| 比較教育訓練費の額の計算 | | | | |
| 事業年度又は連結事業年度 | 教育訓練費の額 | $\frac{\text{適用年度の月数}}{\text{(20)の事業年度又は連結事業年度の月数}}$ | 改定教育訓練費の額 (21)×(22) | |
| 20 | 21 | 22 | 23 | |
| 調整対象年度 | 円 | | 円 | |
| ・ | | | | |
| ・ | | | | |
| ・ | | | | |
| 計 | | | | |
| 比較教育訓練費の額 (23の計)÷(調整対象年度数) | | | 24 | |